

## アンケート概要

### ■ 調査概要

- 調査対象:モビリティ業界(トラック運送・タクシー・ハイヤー・その他運輸業)の経営・現場担当者
- 調査方法:オンラインアンケート
- 有効回答数:294名
- 調査時期:2026年4月～5月

### ■ 設問

中東情勢の緊迫化に伴い、燃料費(軽油・ガソリン等)に変化はありますか？

- 既に大きく値上がりしている
- 緩やかに値上がりしている
- 今のところ変化はない
- 近々値上がりする連絡・見込みを受けている

燃料費高騰や供給不安を受け、運行便数・配送ルート・受注可否に影響は出ていますか？

- 既に減便・ルート縮小・受注制限を実施している
- 一部で影響が出ている
- 検討はしているが未実施
- 今のところ影響なし
- わからない

減便や運行縮小を検討している主な要因は何ですか？

- ドライバー不足(少子化・採用難)
- 中東情勢に伴う燃料費の高騰
- 2024年問題(ドライバーの労働時間上限規制)
- 車両・部品調達の遅れ
- 乗客数または荷量の減少

運賃・料金の見直しについて、現在の状況を教えてください。

- 転嫁したいが、荷主・顧客との関係で踏み切れない
- 既に値上げを実施済み、または即座に反映させる予定
- 数ヶ月以内に値上げを検討している
- 現時点では、自社でコストを吸収し据え置く予定
- 反映しない・反映する予定がない

採用活動や人員配置について、現在の状況を教えてください。

- 人手不足が深刻で、採用費を積み増してでも増員が必要
- 燃料費・人件費負担が重く、新規採用を抑制せざるを得ない
- 賃上げ原資確保のため、採用人数を絞らざるを得ない
- 減便・業務縮小に伴い、既存人員の配置転換で対応
- 影響は出ない